

2021シンポジウム

# Are you ready? SDGsが拓く未来

「日経ウーマニクス」プロジェクトの一環で、毎年恒例となっている理系学生・高校生応援イベントを大阪市内にて開催した。今年のキーワードは「Are you ready? SDGsが拓く未来」。国際社会全体の課題である「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」の達成に向け、日ごろの研究成果やサークル活動をどのように生かすことができるのか。プレゼンテーションコンテストやパネル展示を通して活発な意見交換が行われた。



## SDGs 座談会発表コンテスト

メイン会場では『ゴールに向かって 私達のSDGs』をテーマとしたプレゼンテーション大会が行われた。大学生・高校生が普段取り組んでいる研究活動ベースに、各校内で議論を重ねたSDGsの各目標達成へのアクションプランを壇上にて発表。身近な貧困問題の解決案やペットボトル利用の削減、ジェンダー平等実現への提案まで内容は多岐にわたり、優秀チームには審査員より各賞が贈呈された。

### 三洋化成工業賞

#### 最優秀賞

大学生の部 **徳島大学** 【チーム名】AwaU  
**ユコウで拓け！ 徳島とわたしたちの未来**

徳島の特産品であるユコウとダイダイの自然交配柑橘「ユコウ」に注目。その高い栄養機能性を生かし、商品化による農家への利益還元も含めた持続可能なビジネスの枠組みを構築した。口臭ケア用品や肥満防止飲料など、徳島食材と人々の健康を繋ぐ具体的な商品提案をする。



■三洋化成工業からの講評  
栄養学的観点から新しい食材に注目しただけではなく、生産者の働き甲斐も含めた地域へのプラスの波及効果がしっかりと考えられていました。

■受賞者コメント  
私たちの強みである機能性研究で「ユコウ」の価値をさらにアップさせ、持続可能な農業と地元経済の発展を両立させることが大きな目標です。

### 住友電気工業賞

#### 最優秀賞

大学生の部 **関西学院大学** 【チーム名】CAMPxUS(キャンブ・アス)  
**「ペットボトル削減エコシステム」始動！**

地球を蝕みつつあるプラスチックごみ問題の解決のため、まずはキャンパス内でペットボトル10万本削減を目標にプロジェクトを開始。マイボトルを企業と共同開発し、持参で学内カフェの飲料が無料になるシステムを稼働させることで、初年度8万本以上の削減を見込む。



■住友電気工業からの講評  
学生、大学、企業のそれぞれがメリットを得る持続可能なビジネスモデルが秀逸でした。キャンパスを超えて、世界中に普及させたいアイデアです。

■受賞者コメント  
コロナ禍で活動が限られるなか、プロモーションビデオの作成等でマイボトルの普及率アップに努めてきました。目標達成に向けてさらに邁進します。

### 審査員特別賞

大学生の部 **桃山学院大学** 【チーム名】トリケラトプス  
**夫婦間のコミュニケーションアプリ「まいかつ」を開発！**

先進国の中でも下位に沈む日本のジェンダー平等状況。家庭内という小さな社会に焦点を当て、夫婦間のコミュニケーションを活発にする新たなアプリ「まいかつ」を開発した。感情の起伏や夫婦間の時間・経済バランスを可視化し、円滑に相互理解を図るアイデアを提案。



■審査員からの講評  
男女の労働の現状をしっかりと分析し、見えにくい家事の負担やストレスを可視化した点がユニーク。アプリで夫婦間の共感を支援する手法も画期的です。

■受賞者コメント  
素晴らしいアイデアが多く提案されたなか、賞を頂けて本当に嬉しいです。この活動をさらに広げてSDGs推進に貢献していきたいと思っています。

高校生の部 **追手門学院大手前高等学校** 【チーム名】Otemon Global Challenger  
**SDGsに向き合ったロボット開発で、未来社会について考える**

普段取り組んでいるロボット開発をより役立つものにするため、SDGsに関連する社会課題の調査・研究をスタート。環境問題やインフラ整備など9人のメンバーが座談会での議論を通して理解を深め、解決のためのロボットやアプリ開発に挑戦している。次代を担う自分たちの力で、理想の未来社会を実現したい。



■三洋化成工業からの講評  
地球上で起こりつつある問題をきちんと理解しようと努力を重ね、仲間同士で議論を重ねながらロボット開発に反映していく姿勢は称賛に値します。

■受賞者コメント  
座談会を通してお互いの考えを共有することで、また一歩思考を深めることができました。多くの人に喜んでもらえるロボットを作っていきます。

高校生の部 **四條畷高等学校** 【チーム名】ゴーストバスターズ  
**幽霊坂の怪奇現象を解決!! ~交通事故や渋滞を防ごう~**

「縦断勾配錯視」とは、一定の条件下の坂が上っているかのように見える錯覚のこと。これが原因で年間約1万件の事故が発生しており、安心・安全な街づくりの大きな障害に。自治体とも連携しつつ、ガードレールや街灯、ボールの活用などで錯視防止の取り組みを進める。



■住友電気工業からの講評  
「幽霊坂」という興味深いワード選びから、模型での検証、自治体への働きかけなど、解決に向けた筋の通った道程が今後への期待を感じさせます。

■受賞者コメント  
協力いただいた先生、提携自治体の担当者の方に「ありがとうございます」と伝えたいです。今後も展開余地がある研究だと思うので、後輩にも伝えていきます。

高校生の部 **奈良学園高等学校** 【チーム名】えびふらい  
**出張！子ども食堂 ~子どもの未来を救え!!!~**

子どもの貧困の改善策として出張型の「子ども食堂」を提案。会場を学校内に置くことで、場所の確保や運営費の削減、人手不足など既存子ども食堂の課題解決を図る。資金はクラウドファンディングなどを活用。農業体験や勉強会の開催によって、地域の新たな憩いの場にも。



■審査員からの講評  
身近な貧困にフォーカスした着眼点が素晴らしい。また企業や地域住民など、より多くの人が社会貢献活動に参加できる点も感心しました。

■受賞者コメント  
現状や課題点を詳しく聞かせていただいた子ども食堂の方に謝意を伝えたいです。今後も多くの意見を取り入れつつ、構想を進化させていきます。

### 優秀賞

大学生の部 **大阪大学** 【チーム名】asiam -アザイム-  
**As I am ~日々の暮らしの中で自分らしくアクションを!**



有機太陽電池、ガス触媒反応、蛍光たんぱく質といった各メンバーのクリーンエネルギー研究を起点に、世界の環境問題の解決を図る。またこの活動を広報することでSDGsへの意識を高め、1人1人が日々のアクションを続けることで世界に「いいね!」が広がることを伝えたい。

高校生の部 **奈良学園高等学校** 【チーム名】山の上の奈良学園  
**産休育休の認識を広める ~私たちができること~**



2021年の日本の男女平等ランキングは153か国中120位。原因として、出産や育児などにより女性の社会的キャリアの継続が困難となる点が挙げられる。そこで最新の労働法規や育児に関する啓蒙パンフレットを作成。学内配布を行い、授業の題材としても採用された。

### 優秀賞

大学生の部 **公立大学法人大阪** 【チーム名】Osaka Science Girls  
**色で感染度がわかる! 検査キット**



小型かつ高感度な屈折率センサを活用し、「色」で感染度を診断できる感染症検査キットを提案。誰でもどこでも簡単に診断ができるため、医療へのアクセスが困難な発展途上国などでの普及が期待される。理学と工学の技術を融合させて、すべての人に健康と福祉を届けたい。

高校生の部 **大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎** 【チーム名】株式会社コペルニクス  
**遊戯的防災戦略**



校内調査により、避難訓練の実施が必ずしも実際の災害時の「自信」に繋がっていない現状が明らかに。そこで誰もが親しみを持って予測力・対応力を学べる震災シミュレーションボードゲームを開発。プレイを通して、緊急時に最善の行動を考える機会作りを行いたい。

### エントリーチーム

- 大学生の部
- 京都大学 / そ〜じんs
  - 徳島大学 / AwaU
  - 大阪大学 / asiam -アザイム-
  - 関西学院大学 / CAMPxUS(キャンブ・アス)
  - 公立大学法人大阪 / Osaka Science Girls
  - 岡山大学 / SDGsアンバサダー
  - 桃山学院大学 / トリケラトプス
  - 神戸大学 / KEGs
- 高校生の部
- 育英西高等学校 / Nexus
  - 追手門学院大手前高等学校 / Otemon Global Challenger
  - 大阪信愛学院高等学校 / セリあ
  - 四條畷高等学校 / ゴーストバスターズ
  - 京都女子高等学校 / 総理Girls
  - 奈良高等学校 / ムシくいてえ
  - 帝塚山学院高等学校 / QUAD-TG
  - 千里高等学校 / 千里高校 Future Scientist Group
  - 西京高等学校 / 山田組
  - 奈良学園高等学校 / Lupinus / Q.E.D.
  - 大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎 / 株式会社コペルニクス
  - えびふらい / 山の上の奈良学園

## 高校生研究成果発表ポスターセッション

会場ロビーに大きなパネルが並べられ、高校生10チームがこれまでの研究成果や検証結果などをポスター形式で発表。日々コツコツと積み重ねてきた研究成果が、SDGsの17目標の達成にどのように結びついているのか。優秀賞1チームが来場者の投票によって決定された。

エントリーチーム  
四條畷高等学校 / Anthem 奈良女子大学附属中等教育学校 / サイエンス研究会化学班 奈良学園高等学校 / Hr 武庫川女子大学附属高等学校 / PIONEERS 千里高等学校 / 地域における環境プラスチックの調査 奈良高等学校 / ムシくいてえ 神戸高等学校 / 神高ゼミ ファージ班 帝塚山学院高等学校 / TGポスターチーム 追手門学院大手前高等学校 / Otemon Aqua Challenger 住吉高等学校 / Thanks to PLASTICS!!!



### 優秀賞

奈良高等学校 【チーム名】ムシくいてえ  
**昆虫食の魅力 ~餌による味の多様性~**

貧困や飢餓を救う糸口として注目を集める「昆虫食」。同チームでは先進国での昆虫食普及により、発展途上国での雇用増加にも繋げられる可能性に着目した。そこで「見た目が気持ち悪い」などの先入観払拭のため、餌による味の改善を検証。その結果、旨味や塩味などで変化が明らかとなり、イメージ向上への光明を見出すことに成功した。

主催 / 日経ウーマニクス・プロジェクト実行委員会 (日本経済新聞社)

後援 / 関西経済連合会、大阪府、関西広域連合、関西女性活躍推進フォーラム、関西文化学術研究都市推進機構、関西SDGsプラットフォーム



当日のイベントの様子はアーカイブ掲載しています。ぜひご覧ください。▶ <https://channel.nikkei.co.jp/e/nwpcf2021> (2021年9月30日まで)

